町田 市議会だより

開かれた議会で いいこと ふくらむ まちだ

No.234 令和６年10月30日発行

編　集：議会運営委員会　　発　行：町田市議会
〒194－8520　町田市森野２－２－22

令和６年（2024年）
第３回定例会
８月27日～９月30日

市議会ホームページもご覧ください。
https://www.gikai-machida.jp/

町田市議会へのご意見をお寄せください。
電話 042-724-4049　FAX 050-3161-7663
ｅメール gikai@city.machida.tokyo.jp

・お寄せいただいたご意見の要旨が広報紙等で紹介される場合がございます。ご了解の上、送信ください。
・誹謗中傷、個人情報などは送信しないでください。
・原則として個別の回答は行いません。

町田市議会スマートフォンサイト

9月補正予算を可決
令和５年度決算を認定

2023年９月16日にオープンした忠生スポーツ公園（池の辺地区）のパノラマ写真。
利用時間は午前６時から午後９時まで。

主な内容

２～４面★一般質問
５面★議案審議結果一覧表
６～７面★委員会の審査から　★令和５年度決算審査について
★可決した主な議案の内容
★第17期町田市議会改革調査特別委員会を開催
★常任委員会の活動状況
８面★本会議の質疑から　★意見書（要旨）
★請願の処理経過及び結果報告
★令和５年度政務活動費の収支報告について
★第７回高校生との意見交換会の開催について
★９月定例会の日程

本定例会は、８月27日から９月30日まで35日間にわたり開催され、議案44件、請願５件を審議しました。

審議の結果、市長提出議案は39件を可決、承認、認定しました。

議員提出議案は３件を可決、２件を否決しました。

また、市民から提出された請願は１件を採択、３件を不採択、１件を継続審査としました。

X(旧 Twitter)で発信しています！

町田市議会（町田市公式）
@machida_gikai

議会の情報などをどんどん発信しています。右上の２次元コードより、フォローをお願いします！

令和６年度９月補正予算のあらまし

一般会計と特別会計を合わせた９月補正予算額（第２号及び第３号合算）は92億２４９０万７千円となります。

一般会計補正額のうち歳入は、地方交付税…10億２９５７万１千円、分担金及び負担金…89万６千円、国庫支出金（第２号及び第３号合算）…５億８６８７万１千円、都支出金…７２５８万８千円、繰入金…７億７７６４万４千円、繰越金…54億２０５５万２千円、諸収入…３４１万５千円、市債（第２号及び第３号合算）…△１億１０００万円です。歳出の主なものは次のとおりです。

総務費

財政管理費の財政事務費（第２号及び第３号合算）…55億７２０２万８千円。

民生費

障がい者福祉費の障がい福祉事務費…２億６８４０万４千円、医療事業総務費の国民健康保険事業会計繰出金…４５５５万円、児童福祉総務費の児童福祉事務費…３２１４万円、保育・幼稚園費の保育・幼稚園事務費…６億９３８万５千円、保育・幼稚園費の認証保育所事業費…３３２７万７千円、児童青少年費の学童保育費…３２６４万３千円、生活援護費の生活援護費…１億３７３６万９千円、生活援護費の生活保護費…２億７２９９万４千円。

衛生費

保健予防費の予防接種費…３３４８万９千円、保健予防費の保健所運営事務費…３億６０８５万７千円、廃棄物処理費の廃棄物処理施設運営費…４４５４万５千円。

土木費

道路維持費の道路維持費…△３１９４万４千円。

教育費

保健給食費の中学校給食運営費…２億２１５１万９千円。

令和６年度（2024年度）９月補正 会計別予算構成表

（単位：千円）

区分		補正前の額	構成比(%)	補正額	計	構成比(%)
一般会計		180,226,981	57.5	7,781,537 (2号・3号合算)	188,008,518	58.2
特別会計	国民健康保険事業会計	40,830,084	13.0	499,372	41,329,456	12.8
	介護保険事業会計	39,757,155	12.7	849,595	40,606,750	12.6
	後期高齢者医療事業会計	14,136,848	4.5	129,642	14,266,490	4.4
	鶴川駅南土地区画整理事業会計	685,447	0.2	1,717	687,164	0.2
	下水道事業会計	20,494,550	6.5	△ 88,756	20,405,794	6.3
	収益的	12,099,008	3.8	0	12,099,008	3.7
	資本的	8,395,542	2.7	△ 88,756	8,306,786	2.6
	病院事業会計	17,648,667	5.6	51,800	17,700,467	5.5
	収益的	15,812,233	5.0	51,800	15,864,033	4.9
	資本的	1,836,434	0.6	0	1,836,434	0.6
	小計	133,552,751	42.5	1,443,370	134,996,121	41.8
合計		313,779,732	100.0	9,224,907	323,004,639	100.0

詳細は、
町田市ホームページ内「町田市の予算」のページをご覧ください。

≪「令和6年度（2024年度）9月補正予算」ページ≫

12月定例会のお知らせ（予定）

月	日	内容
11	28（木）	本会議（提案理由説明） 議会運営委員会
	29（金）	議案説明会 全員協議会
12	3（火）	本会議（一般質問） 議会運営委員会
	4（水） 5（木） 6（金） 9（月）	本会議（一般質問）
	10（火）	本会議（質疑） 議会運営委員会
	11（水）	常任委員会 （文教社会・建設）
	12（木）	常任委員会 （総務・健康福祉）
	13（金）	常任委員会予備日
	23（月）	本会議（表決） 議会運営委員会

日程は変更になる場合があります。請願・陳情の受付締切は、**11月28日（木）午後５時**です。
※受付締切日にご注意ください。

一般質問

８月30日、９月２日から５日の５日間にわたり、32名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをただしました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。

※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。

間違い議案配布と理事者の責任

吉田つとむ（無所属）

問　市議会議員に配布した定例会の予算書、決算書、条例の議案文書の内容が丸ごと違ったまま、審議に入った怠慢な例は過去にあるか。

総務部長　電子でお送りした文書が差し替わっていたということで大変ご迷惑をおかけしてしまった次第です。過去にあったかということですけれども、丸ごと差し替わって議案が出たというのは過去には多分ないと思います。ただ、原本は誤りのものを送付していないので、そこは確認していただければと思います。

問　なぜ、いまだに土木建設の現業団体は町田市防災会議のメンバーから排除され続けるのか。

防災安全部長　防災会議の構成について、どのような方に入っていただくことがよいのかというのは、また今後、継続して研究していきたい。

町田を持続可能な街である為に

中川幸太郎（諸派）

問　町田駅周辺公共施設再編構想について、市民ニーズをどのように把握し、反映しているか。

政策経営部長　各施設利用者を対象としたアンケート調査、市民との意見交換会など、ニーズを把握しながら進めています。（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設の検討には、乳幼児の健診、相談の際に保護者へのヒアリングや中学生、高校生、大学生にも意見を聞くなど、子どもと子育て世帯の意見を把握しながら進めているところです。

問　地域活動を持続可能性のあるものとするために考えていることは。

市民協働推進担当部長　エビデンスに基づいた効果的な施策を検討するため、24年度から2か年で法政大学と地域コミュニティーの研究を共同で取り組んでいるところです。

まちだの未来は／災害／胃がん

森本せいや（まちだ市民クラブ）

問　物価の急騰等、社会変化の大きさは予想を上回る。2025年度に向けた市政運営の考え方や予算編成方針が示された。市長の意気込みは。

市長　厳しい財政状況に置かれている今このときが変わるチャンスだと捉え直し、職員とともに大胆な改革、あるいは新たな価値の創出にチャレンジをしてまいりたい。

問　災害時における緊急道路の通行に関して、協力事業者との連携を深めるべきだ。

道路部長　事業者が作成した施工計画書にて全容を把握し、事業者が円滑に作業できるような体制を整えています。

問　市の胃がん検診にて、胃カメラを選択できないか。

保健所長　町田市医師会と現状や課題を共有し、検診方法などの見直しを含め、より有効な胃がん検診の実施に向けて協議をしていきます。

超高齢社会への対応について

佐藤和彦（まちだ市民クラブ）

問　介護予防の取組内容は。

いきいき生活部長　市オリジナルのトレーニングである町トレや運動、趣味活動などを行う自主グループの立ち上げ支援、高齢者支援センターが実施するイベントサポートなどを行う介護予防サポーターの養成などを行っています。

問　介護人材確保への取組内容は。

いきいき生活部長　就労相談会や合同面接会などのきめ細かな就労サポートや資格取得支援の実施、介護の仕事の魅力発信を進めています。

問　認知症家族介護者のニーズや思いをどのように把握しているのか。

いきいき生活部長　認知症の人の家族介護者を対象としたアンケートに回答いただいた方の一部に直接ヒアリングを行う機会を設け、今後の施策に生かしていきます。

町トレ（町田を元気にするトレーニング）の様子

非核平和宣言都市の取組は

佐々木智子（日本共産党）

問　来年は原爆投下から80年。原爆パネル展や中学生広島派遣事業の実施はいかがか。

政策経営部長　22年７月に原爆パネル展を開催しました。市が加盟している日本非核宣言自治体協議会で、小学生と保護者を長崎市へ招待する事業を実施し、市は参加の呼びかけを行っています。

問　地域交通に関するアンケートを実施して、市民がどのような移動手段を求めているか調査すべきだがどうか。

都市づくり部長　（仮称）町田市地域公共交通計画策定の基礎資料とするため、今年度中に実施する予定です。

問　生涯学習センター休館時の障がい者青年学級の開催場所と後期事業計画を問う。

生涯学習部長　公民館学級は町田第一中学校、土曜学級は町田市民フォーラムです。成果発表会も開催予定です。

第三セクターのあり方の検討を

白川哲也（選ばれる町田をつくる会）

問　福利厚生サービスさるびあタウンを提供する町田市勤労者福祉サービスセンター利用事業所数の状況は。

経済観光部長　目標値が930事業所に対し、実績は708事業所となっています。

問　５カ年での推移は。

経済観光部長　19年度845、20年度799、21年度769、22年度739、23年度708事業所となっています。

問　利用者数が年々減少しており、減少に歯止めがかからないようであれば、廃止することも検討すべきだが、他市で廃止された例はあるのか。

経済観光部長　解散となった墨田区や入間市のほか、業務終了が予定されています西東京市などがあります。町田市としては、センターと事業者や働く方が心地よく働き、様々なチャレンジを促進する土台づくりを進めていきます。

学童のお昼の提供が実証実験へ

いわせ和子（選ばれる町田をつくる会）

問　学童保育クラブの長期休暇時のお昼の提供を。

子ども生活部長　昼食提供の実証実験について、25年の夏休みの期間中に２週間程度行うことを予定しています。活用を想定している給食センターは、積極的な提案をいただいている鶴川エリアを想定しています。どの小学校で行うかについては、給食センターから運ぶことが距離的に可能であることや、搬入経路が確保できることなどの条件を満たす小学校について、対象として考えています。

問　鶴川２号踏切と鶴川駅西口交通広場混雑の対策は。

都市整備担当部長　鶴川２号踏切の安全対策について、小田急電鉄と協議していきます。広場部分については、交通量調査などを通じて、混雑状況の実態を把握し、警視庁と対策を協議していきます。

補聴器購入補助／非常時電力源

おんじょう由久（公明党）

問　これまで介護予防や聴こえのコミュニケーション向上のため、東京都の補助制度を活用した補聴器購入補助を求めてきたが、検討状況は。

榎本副市長　購入費の一部助成を実施することについて検討を進めていきます。

問　非常時に備え、在宅での人工呼吸器等使用者への電力源確保の支援が必要だが。

保健所長　難病患者について医療機関が蓄電池や発電機を貸与し、購入費を全額補助する都の制度があります。

地域福祉部長　電源確保の状況について把握をし、必要な支援ができますように検討しているところです。

問　地域の活動拠点としてどのような学校を目指すのか。

市長　地域の方々がふだん使いできる施設として地域活用型学校と位置づけ、地域の活動拠点を目指しております。

高齢者・障がい者支援について

松葉ひろみ（公明党）

問　手話を必要とする方に向けて、遠隔手話通訳サービスを導入してはどうか。

地域福祉部長　導入に向けた検討を現在行っているところです。

問　死後事務・日常生活支援・身元保証などを請け負う「高齢者等終身サポート事業」についての認識は。

いきいき生活部長　入院や入所手続支援、日常生活支援、死後事務等の支援を、家族や親族に代わり民間事業者が行うサービスと認識しています。

問　現在子ども発達センターで受け入れられない医ケア児も受け入れられる体制を。

榎本副市長　看護師を追加で配置したり、タクシーを利用することで、できる限り制限なく週５日通園グループに通うことができるようになると考えており、早い時期に対応していきたい。

いのちと健康を守る市政を問う

今村るか（まちだ市民クラブ）

問　夏休み明けは子どもの自殺が増加する傾向がある。市教委の命を守る決意を問う。

指導室長　学校組織全体で児童生徒の自殺予防の取組を確実に行うとともに、学校と家庭、関係機関等との連携を強化し、児童生徒への支援体制の充実を図るよう、都教育委員会から出されている通知とともに周知をしています。

問　ＨＰＶワクチンの無料キャッチアップ接種は来年３月で終了。今月に１回目接種をしなければ全３回の接種が困難になる恐れがある。対象の16～27歳の女性に再度の周知徹底を求める。

保健所長　町田市医師会と連携するとともに、24年５月には接種未完了者に対して個別に、ＨＰＶワクチンが無料で接種できること、キャッチアップ接種が今年度で終了することをご案内しています。

教員働き方・脱炭素化・高齢者

秋田しづか（諸派）

問 学級担任が休んでも授業が進められるようにチーム担任制を導入してはどうか。

指導室長 市内の小学校や他の自治体でも行っている学校があり、その実施状況を踏まえ、検討していきます。

問 脱炭素化の活動をする市民団体が市役所の縦割りで苦労している。縦割りをどのように打破するのか。

環境資源部長 市民、事業者の皆様が様々な課題、テーマに対して取り組んでいただく場面があるときには、こちらから環境だけではなく様々なテーマで地域の課題、取組を推進していくことが必要だと考えています。

問 ＴＯＫＹＯ長寿ふれあい食堂推進事業を活用してはどうか。

いきいき生活部長 活用については、他市の状況、効果等も注視していきます。

学校の諸課題に抜本的予防策を

矢口まゆ（諸派）

問 学校風土の向上には、不登校、いじめ、子どものメンタルヘルスの悪化に対する予防効果、児童生徒の学力の向上、教師のメンタルヘルスの安定などの効果がある。学校評価アンケートの内容は、学校風土把握の視点で作成し学校風土把握に努めては。

指導室長 学校評価の項目については、学校評価ガイドラインや町田市教育プランの視点に基づいて検討していますが、学校風土の視点についても重要な視点だと考えていますので、そこも含めて学校評価実施委員会の中で検討していきたいと考えています。

問 アンケートは無記名に。

指導室長 児童生徒や保護者、またそのほかの方々について、その匿名性の担保については、今後、学校評価実施委員会においても検討していきます。

学校給食の無償化／人権教育！

松岡みゆき（無所属）

問 多摩26市中、15市が学校給食を無償化しているが市も子育て支援で無償化すべき。

学校教育部長 今後も国や都に制度設計や財源措置について要望し、引き続き他自治体の動向を確認していきます。

問 北朝鮮は拉致被害者の日常を奪った。これは人権侵害である。学校教育で人権教育として拉致問題への取組は。

指導室長 鶴川中の取組は、産経新聞社の記者を講師として横田めぐみさんに関する講演を行ったり、めぐみさんへ手紙を書いたり、弟である拓也氏を講師として話を伺っており、映画「めぐみへの誓い」の視聴、作文コンクールの応募などに取り組んでいます。

問 小学校の校門開放にあたり子供の見守りは教員の負担軽減のため外部委託すべき。

学校教育部長 今後、国の動向を注視していきたい。

不登校の学習・居場所の保障を

細野龍子（日本共産党）

問 校内教育支援センターの効果について問う。

学校教育部長 確実に出席になり、成績もつけられ、不登校にはカウントされませんので、教育支援センターに行く前に校内のところで手当できている効果が考えられます。

問 不登校を未然に防ぐ校内教育支援センターを継続、拡充すべきだがどうか。

学校教育部長 モデル事業ということで、今年度で終了させていただきます。これから先、できるだけいろんな学校でも対応できるような方策がないか、検討していきたい。

問 大規模学童保育クラブの課題解決を問う。

子ども生活部長 育成スペース確保や職員配置を適切に行っており、利用者アンケートにおいても、高い満足度をいただいていることから、課題があるとは考えていません。

移動販売／脱炭素／窓口ＤＸ

村松としたか（公明党）

問 市は本年８月に民間事業者と移動販売の協定を締結した。どう展開するのか。

榎本副市長 高齢者が日常の買物に不便を感じている地域にて移動販売を実施することにより、生活の質の向上を図ることを目的としています。場所の選定や町内会・自治会等との調整を進め、本年12月の開始を目指していきます。

問 本年３月、公共施設に更なる再生可能エネルギーの導入を求めたが、取組状況は。

環境資源部長 ９月から成瀬クリーンセンターにて再生可能エネルギー１００％の電力を導入して、市有施設全体の電力量のうち約６割がＣＯ２ゼロの電力になりました。

問 窓口DXの新たな取組は。

デジタル戦略室長 オンライン申請アプリを活用し、申請書を書かずに手続できないか今後検証していく予定です。

持続可能な町田市を／地域計画

加藤真彦（自由民主党）

問 市内事業者の人材確保と定住に対しどのような支援を考えているか。

経済観光部長 市内事業者への支援拡充を位置付けた奨学金返還支援は、従業員に直接支援するものや代理返還した企業を支援するものなどがあります。現在制度研究や意見交換を行い検討しています。

問 町田市のシティプロモーションの方向性は。

広報担当部長 人々の共感を得て、町田のファンを増やしていくことを意識して戦略的に行っているところです。

問 町田市農地利用地域計画を農地保全や農業振興にどのように役立てていくのか。

北部・農政担当部長 農地所有者と農業者、新規就農者を結びつけ、市内農地を保全できるよう役立て、より多くの市内産農産物が流通することを期待しているところです。

買物支援／医ケア／上小山田

藤田学（自由民主党）

問 民間事業者との連携による移動販売は、買物に困っている方々が、本当に待ち望んだ取組。今後の展開は。

榎本副市長 移動販売の実施が住民主体の様々な活動が展開される契機となること、高齢者支援の枠にとどまらない地域の活性化につながることにも期待をして、12月の開始を目指し、事業者や町内会・自治会等の皆様とともに協働して取り組んでいきます。

問 医療的ケアを必要とする重度障がい児・者の地域包括ケアシステムの構築を。

地域福祉部長 様々な方に提言いただいているところです。必要な取組を見定め実施に向け検討を進めていきたい。

問 ＪＲ東海と協力し、上小山田リニア非常口周辺の生活環境整備と未利用地活用を。

政策経営部長 ＪＲ東海や国と連携、協力していきたい。

災害時トイレ対策／小山田地区

小野寺まなぶ（公明党）

問 トイレトレーラー導入に関する検討状況は。

防災安全部長 市としては、他自治体の状況等を注視しつつ、引き続き、市民の皆様が安心できる災害時のトイレ対策に取り組んでいきます。

問 忠生５７９号線Ⅰ期について、第１工区と第２工区を併せての道路線形は。

道路部長 24年度の末頃までには、田中谷戸街づくり協議会に道路線形の案を提示し、協議を始めていきたいと考えています。

問 認知症の人の家族に対する支援は。

いきいき生活部長 家族介護者交流会では、認知症の人を含む高齢者の家族介護者が集まり、情報交換や悩みの共有を行っています。家族介護者教室では、家族介護者のニーズに応じて介護の方法や知識を学ぶことができます。

笑顔あふれる町田を目指して

熊沢あやり（諸派）

問 中学校給食がセンター方式で開始するのに伴い、金井学童、本町田ひなた学童での給食提供はどうなのか。

子ども生活部長 新たな学校での給食提供について、長期休暇中にセンターから配送、提供する等を配慮した施設整備の要求水準書としています。金井学童は、昼食提供の実証実験について検討しています。

問 大雨時等の避難所を早期に開設できないか。

防災安全部長 今後、適正な時間に開設できるよう努めていきます。

問 令和10年本町田ひなた小学校が新設された際にはスクールバス導入の可能性はあるのか。

学校教育部長 第２期以降の検討で、活用可能性について、比較検討予定です。結果を踏まえ、今後、市内全域での在り方も検証していきたい。

町田市デジタル化総合戦略！

三遊亭らん丈（自由民主党）

問 町田市デジタル化総合戦略２０２３の改定のポイントは何か。

榎本副市長 トレンド技術の積極的な導入、便利で手間のかからない市役所の実現、行政データの見える化と利活用の推進です。今後も、行政サービス改革イコールＤＸと捉え、人に優しいデジタル社会を実現していきます。

問 孤独・孤立対策推進法が施行されたが、市の対応を問う。

地域福祉部長 まちだ福祉○ごとサポートセンターを開設し、状況に応じた相談支援を行っているところです。これからも支援を必要とする方のサポートを行っていきます。

問 退職された町田市職員の再採用を実施してはどうか。

総務部長 退職した職員が再び活躍できる採用制度を24年度下半期から導入予定です。

不登校施策・ごみ減量・学童

渡辺さとし（まちだ市民クラブ）

問 国の法令改正で、都立高校進学の弊害となっていた不登校生徒の成績評価は学校現場においてどう変わるか。

学校教育部長 市としては、教員の研修や連絡会にて趣旨などの説明を行い、国や都の考え方や他自治体の状況も踏まえ対応を検討していきます。

問 粗大ごみ減量に向けた事業者連携の取組の現状は。

環境資源部長 23年に株式会社ジモティーと、24年に株式会社マーケットエンタープライズと協定を締結し、ごみの減量とリユース意識の醸成に向け取組を進めています。

問 学童クラブ支援員の業務低減と児童の安全安心な入退室管理のため、業務のＩＣＴ化を検討すべきだがどうか。

子ども生活部長 入退室管理のシステムの導入など、デジタル技術の活用については、今後研究していきます。

保育子ども視点・環境配慮行動

佐藤伸一郎（自由民主党）

問 近い将来には待機児童が解消するという前提で、民間保育施設のあり方を問う。

子ども生活部長 現在、保育施設の機能向上及び老朽化対応支援計画の策定に向けた準備を進めています。

問 町田市における子ども視点のまちづくりの取組状況を問う。

市長 子ども視点のまちづくりを進めてきた結果、子どもセンターや子どもクラブ、放課後子ども教室「まちとも」、冒険遊び場などの利用者は、23年度は単年度では初めて１００万人を超えるという喜ばしい成果が得られました。

問 町田市第５次環境配慮行動計画について、その進捗を問う。

環境資源部長 電力をＬＥＤ化などで削減し、引き続き再生可能エネルギー由来の電力の調達を進めていきます。

野津田公園自然／女性支援新法

笹倉みどり（まちだ市民クラブ）

問　スケートパークデザイン案の市民説明会の時期は。

都市整備担当部長　地元説明会は、本会議における行政報告等を行った後、10月以降に開催する予定です。

問　上の原広場の自然環境についての認識は。

都市整備担当部長　野津田公園内にある緑は、上の原広場に限らず、多世代の交流の場や自然との触れ合い活動が楽しめる場など様々な役割があります。これまでも市民の多様な活動を支えてきたと認識しています。

問　女性が安心して自立した生活ができる社会実現のため、当事者中心、民間との協働が重要となる新法の周知を。

子ども生活部長　女性支援新法に関わる情報については、今後、関係部署と調整し、ホームページにおいて周知ができるよう検討していきます。

続柄／内部告発／障がい者入浴

東　友美（まちだ市民クラブ）

問　パートナーシップ関係の同性カップルの続柄に「夫（未届）」「妻（未届）」を選択できるようにすべき。

市民部長　今までどおり、事務処理要領に基づいて記載を行い、選択できるようにすることは考えていませんが、国の動向を注視していきます。

問　職員から公益通報や内部告発があった場合にはどのような対応がとられるのか。

総務部長　規則にて通報者の保護を図っています。外部の弁護士に公益通報監察員を委嘱しています。職員が一定の通報や告発を行う場合、職員課が窓口となり、監察員が調査を行うこととしています。

問　重度身体障がい者訪問入浴事業について前回の質問後事業内容に変更はあったか。

地域福祉部長　利用回数の上限の見直しを行い、月４回に変更することとしました。

豊かな街路樹で地球温暖化対策

殿村健一（日本共産党）

問　「街路樹更新計画」では、樹冠被覆率拡大が求められている。地球温暖化対策としての街路樹の役割を問う。

道路部長　大気中の二酸化炭素を吸収する環境保全機能と樹冠が木陰を形成し寒暖や乾湿などの変化を緩和する緑陰形成機能などがあります。

問　町田三中・山崎中統合新設校を本町田小学校用地につくることは、運動場確保等に問題があるが、理由を問う。

学校教育部長　審議会における選定に当たり、評価項目とした生徒の通学のしやすさとゆとりある学校施設環境の整備に沿って検討を行い、いずれも1位であった本町田小学校用地を候補地としました。

問　公社森野住宅住民が住み続けられる方策を問う。

都市づくり部長　引き続き、ＪＫＫ東京に丁寧な対応を行うことを求めていきます。

国際工芸美術館計画は見直しを

新井よしなお（無所属）

問　公園遊びの邪魔になる工事はしない、版画館横のケヤキは伐採しないと住民に説明しているが下段の工事の可能性があるのは違うのでは。

営繕担当部長　ＶＥ提案にて得たもので、利用者の動線確保、沿道の住民への影響もあり、施工者と慎重に判断する必要があると考えています。

問　先に市民の意見を聞きその意見を反映させ計画を進めるべきだが。

文化スポーツ振興部長　市民の方々から意見を伺い、反映させ進めてきました。今後も、丁寧に説明、意見を伺い事業を進めていきます。

問　飼い主のいない猫の対策で届いている意見は。

保健所長　不妊・去勢手術を行う際に、複数の動物病院で受けさせたいとの声が寄せられ、23年12月から受けられるように変更しています。

移動販売で地域交流や見守りを

おぜき重太郎（諸派）

問　民間事業者と移動販売の連携協定の締結に至った経緯をご説明ください。

榎本副市長　活動経費の補助などを行っていますが担い手不足等の課題があり、全域での展開は容易ではない状況です。そのような中、提案を受け、協定を締結しました。

問　買物が不便な地域や地元のニーズをどのように把握し、協働していきますか。

榎本副市長　高齢者支援センターを通じてニーズを把握し、町内会・自治会や地域団体にも協力いただき、協働による実施を目指していきます。

問　移動販売による交流機会の創出や見守りの充実はどのように行っていきますか。

榎本副市長　買物を通じて販売員や近隣住民との交流が生まれると考えています。事業者が可能な範囲で見守りに協力してもらう予定です。

公衆浴場の有用性／糖尿病治療

おく栄一（公明党）

問　被災時における公衆衛生確保のため東京都公衆浴場業生活衛生同業組合と災害時応援協定を締結すべきでは。

防災安全部長　協定については、他市事例など調査をする中で考えていきたい。また、洗髪や入浴などについては様々な手法で検討していきます。

問　糖尿病治療歴のある糖尿病治療中断者の受診勧奨を早急にすべきではないか。

いきいき生活部長　２回目は９月に行う予定で今後も速やかに勧奨できるよう努めます。後期高齢者医療制度へ移行した方に都にて９月４日に通知を発送したと伺いました。

問　入札参加をしていなくとも履行実績があれば入札参加資格者とみなしていいのか。

財務部長　応札が何者あったかは結果であって、公告段階で参加事業者が実際に何者あるのかが判断する材料です。

公園利用の申請手続について

若林章喜（選ばれる町田をつくる会）

問　公園利用における申請手続きについては、柔軟に対応すべきだがどうか。

都市整備担当部長　市に書類を持ち込まれた方についても一旦受け取り、指定管理者へ送付するなど、負担軽減につながるよう、指定管理者と市民目線で課題を共有し、柔軟な対応を行っていきます。

問　町田市役所の働き方に関する人事制度の取組は。

榎本副市長　時差勤務制度やテレワークをはじめ、子育て部分休暇などを他市に先駆けて導入しました。

問　市民向けサービス「ＡＩナビゲーター」の市民利用の実績は。

榎本副市長　７月25日に公開し、８月21日までの約１か月の間に４０００件ほど、１日当たりにしますと約１５０回、大変多くのご利用をいただいているところです。

市民向けサービス「AIナビゲーター」のイメージ

全庁的なスクールバスの検討を

戸塚正人（まちだ市民クラブ）

問　スクールバスは全庁的に検討をすれば実施できる可能性がある。全庁組織で検討すべきだがどうか。

政策経営部長　第２期小山田地区等は、庁内横断的に検討を行うため、プロジェクトチームを８月に立ち上げたところです。この中でスクールバスなどの活用可能性について、関係者の意見を伺い、比較検討を行う予定です。検討結果を踏まえ、市内全域での在り方も検証していきたい。

問　公共施設再編計画は総務省からの通達で求められたものだ。国に対し補助制度を整備するよう積極的に働きかける必要があるがどうか。

市長　施設の老朽化、それぞれに対応し、これからやる事業、お話がありましたとおり、全国のトップランナーでありますので市としては国への要望を引き続きやっていく。

相原駅／越境する樹木の剪定

小野りゅうじ（まちだ市民クラブ）

問　駅舎と自由通路の外壁材や色の統一感が損なわれた状態を復旧できるよう、相原町の方の意見を考慮し、ＪＲと協議すべきだが、どうか。

道路部長　修繕を行う際、どのような材料、色にすることが望ましいか、地元の方々のご意見を踏まえつつ、安全性、経済性、施工性などをＪＲ東日本と情報共有しながら協議していきます。駅舎の色についても地元のご意見をＪＲ東日本に伝えていきます。

問　道路標識や信号機が越境した樹木により見えなくなっている場合、迅速に対応することはできないのか。

道路部長　より速やかに対応できる方策を引き続き研究していくとともに、土地所有者などに対して責任を持って樹木を管理していただくよう、罰則の適用もあり得ることも含め周知を図っていきたい。

さるびあ図書館／学校統廃合

田中美穂（日本共産党）

問　「さるびあ図書館と中央図書館の集約についての意見交換会」で参加者からどのような意見が出されたか。

生涯学習部長　地域の未来世代に手渡したい図書館や公共サービスの姿については、多世代交流ができるとよいなどご意見をいただいています。

問　採択された請願に基づき、地域に身近な図書館の存続を求めるがどうか。

生涯学習部長　地域の皆様との対話を継続しながら、集約方法の検討を進めたい。

問　学校統廃合において、子どもの意見表明権の実施は。

学校教育部長　25年２月から３月に職員による新たな学校づくり出張授業という形で、意見を表明できる場を試行します。例えば、授業の中の一つの方法として、終わってからの感想を集めるとかは考えていきたい。

用語の解説　本文中の青文字の解説です

◎ HPV　【２面】
ヒトパピローマウイルスの略称であり、子宮頸がんをはじめ、肛門がん、膣がんなどのがんや、尖圭コンジローマ等、多くの病気の発生に関わっているウイルスのこと。

◎地域包括ケアシステム　【３面】
高齢者が介護の必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、地域で支える体制のこと。

◎ ICT　【３面】
Information and Communication Technologyの略称であり、コンピュータやインターネットなどの情報コミュニケーション技術のこと。

◎パートナーシップ関係　【４面】
双方又はいずれか一方が性的マイノリティであり、互いを人生のパートナーとして、相互の人権を尊重し、日常の生活において継続的に協力し合うことを約束した二者間の関係のこと。

本会議・委員会のインターネット放送を行っています。(https://www.gikai-machida.jp/)

★令和6年(2024年)第3回定例会議案審議結果一覧表

※木目田英男議員は議長のため、可否同数の場合に議長裁決により議決します。

○　賛成　×　反対　－　棄権　空欄は欠席

議案番号	議案名	議決結果	まちだ市民クラブ								公明党						自由民主党					日本共産党				選ばれる町田をつくる会		無所属			諸派					議決月日
			戸塚正人	渡辺さとし	小野りゅうじ	笹倉みどり	佐藤和彦	森本せいや	東　友美	今村るか	おんじょう由久	小野寺まなぶ	村松としたか	松葉ひろみ	山下てつや	おく栄一	石川好忠	加藤真彦	三遊亭らん丈	藤田　学	佐藤伸一郎	細野龍子	田中美穂	佐々木智子	殿村健一	若林章喜	木目田英男(議長)	白川哲也	いわせ和子	松岡みゆき	新井よしなお	吉田つとむ	おぜき重太郎	矢口まゆ	熊沢あやり	中川幸太郎	秋田しづか	
★　市　長　提　出　議　案																																						
第66号	令和6年度(2024年度)町田市一般会計補正予算(第2号)	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○		○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	8月27日
第67号	令和6年度(2024年度)町田市一般会計補正予算(第3号)	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第68号	令和6年度(2024年度)町田市国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第69号	令和6年度(2024年度)町田市介護保険事業会計補正予算(第1号)	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第70号	令和6年度(2024年度)町田市後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第71号	令和6年度(2024年度)町田市鶴川駅南土地区画整理事業会計補正予算(第1号)	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第72号	令和6年度(2024年度)町田市下水道事業会計補正予算(第1号)	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第73号	令和6年度(2024年度)町田市病院事業会計補正予算(第1号)	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第74号	町田市個人番号及び特定個人情報の利用等に関する条例の一部を改正する条例	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第75号	町田市高校生等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第76号	町田市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第77号	町田市下水道条例の一部を改正する条例	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第78号	町田市中学校給食センター条例	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第79号	町田市立図書館条例の一部を改正する条例	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第80号	相模原市と町田市との間における証明書の交付等の事務委託の廃止に関する協議について	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第81号	消防ポンプ自動車購入	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8月27日
第82号	児童生徒用タブレット端末購入	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8月27日
第83号	学校用ノート型パソコン購入	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8月27日
第84号	鶴川中学校中規模改修機械設備工事　Ⅰ期請負契約	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第85号	生涯学習センター機械設備改修工事請負契約	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第86号	町田第一中学校体育館・プール棟給排水衛生設備改修工事請負契約	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第87号	土地の買入れについて	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8月27日
第88号	市道路線の認定について	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第89号	市道路線の廃止について	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第90号	町田市美術工芸館の指定管理者の指定について	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第91号	三輪子どもクラブの指定管理者の指定について	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第92号	木曽学童保育クラブ外11施設の指定管理者の指定について	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第93号	大戸のびっ子学童保育クラブの指定管理者の指定について	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第94号	小山中央学童保育クラブの指定管理者の指定について	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第95号	南つくし野学童保育クラブの指定管理者の指定について	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第96号	山崎学童保育クラブの指定管理者の指定について	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第97号	町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第98号	堺市民センター改修工事請負契約	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第99号	(仮称)町田市中学校給食センター整備・運営事業契約の変更契約	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第100号	本町田地区・南成瀬地区小学校整備等PFI事業契約	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○		○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	9月30日
報告第10号	令和6年度(2024年度)町田市一般会計補正予算(専決第1号)の専決処分の承認を求めることについて	承　認(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8月27日
認定第1号	令和5年度(2023年度)町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について	認　定(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
認定第2号	令和5年度(2023年度)町田市下水道事業会計決算認定について	認　定(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
認定第3号	令和5年度(2023年度)町田市病院事業会計決算認定について	認　定(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	9月30日
★　議　員　提　出　議　案																																						
第24号	在日米軍人・軍属による性的暴行事件の再発防止、及び関係自治体への迅速な情報の周知徹底を求める意見書	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	議長	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	9月30日
第25号	公立小中学校で使用されるタブレット端末の整備・更新における市区町村の財政的・事務的負担の軽減を求める意見書	否　決[※議長裁決]	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	9月30日
第26号	「校内別室指導支援員配置事業」の補助金の継続・拡充を求める意見書	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	議長	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	9月30日
第27号	米不足と価格高騰への緊急対策を求める意見書	否　決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×		×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	9月30日
第29号	自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書	可　決(全員一致)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
★　請　願																																						
第14号	心身障がい者に対するタクシー運賃補助を町田市の事業とする請願	採　択(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月30日
第15号	本町田地区・南成瀬地区小学校の統廃合計画の「要求水準書」において心身の発達を大切にして校舎面積と同様に「運動場の面積」も「小学校設置基準」(文部科学省令)を充たす努力を求める請願	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	議長	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	9月30日
第16号	国に対し『健康保険の資格確認書の交付を「当分の間」との制限をせず、今後も継続し、申請しなくても発行を求める意見書』の提出を求める請願	不採択	×	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×		×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	9月6日
第17号	加齢性難聴者の補聴器購入の助成を早期に求める請願	継続審査	継続審査となりました。																																		9月30日
第18号	子どもたちが学校統廃合に臨めるようになるまでPFI契約の延期を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	議長	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	9月30日

本会議・委員会のインターネット放映を行っています。https://www.gikai-machida.jp/

審査から　令和５年度 決算を審査

本定例会では、決算についても各常任委員会で審査しました。各常任委員会では活発に質疑が行われ、決算審査の結果「認定すべきもの」と決し、多数の意見が付されました。

健康福祉

9月9日・10日・17日に議案7件、認定2件、請願2件の審査を行いました。

心身障がい者に対するタクシー運賃補助を町田市の事業とする請願

委員　近隣自治体の補助制度はどのようになっているか。

障がい福祉課担当課長　多摩26市の補助事業の実施状況ですが、タクシーの運賃補助を実施している団体、請願にありましたように用途を限定しない方式で実施している団体が23団体、町田市を含めて通院等に用途を限定している市が2団体、実施していない団体が1団体となっています。

委員　請願の要旨に外出困難な場合の事例として、「特に、肢体障がい者のなかでも歩行が困難な方や、視覚障害者に支援者がいないとき等」が挙げられていたが、多摩26市において、対象者の制限を設けている団体はあるのか。

障がい福祉課担当課長　対象者の制限の方法は主に2つあり、1点目が障害者手帳における総合等級を基に対象者を制限する等級制限があります。こちらは、町田市を除く全ての実施団体において設けられています。もう1点が、所得が一定額を超過した方については助成をしないという制限で、20市実施しているうち14市が設定しています。

委員　タクシー運賃補助の実施方法と多摩26市の状況は。

障がい福祉課担当課長　実施方法について、タクシー券の方式で実施しているのが13市、タクシーに限定した償還払いの方式で実施しているのが7市、タクシー以外の公共交通も含めた償還払いは、町田市を含め2市となっています。手当の方式で実施しているのが3市となっています。

決算審査（健康福祉）認定すべきものと決定

- まちだ福祉〇（まる）ごとサポートセンターにおいてこれまで行政に関わっていなかった方にもアプローチを行い、困りごと相談につなげていくよう努められたい。
- 地域活動支援センター「まちプラ」については、設置箇所の拡充も含め、さらなる利用者増のため、検討されたい。
- 重度身体障がい者訪問入浴事業において、夏季の利用回数を増やすよう努められたい。
- シルバーピアについては、高齢者住宅管理事業という目的を再認識し、事業における課題解決は、入居者内に孤立するのではなく、町田安心して暮らせるまちづくりプロジェクトにつなげるなどして、本来の事業目的である単身の高齢者や高齢者のみの世帯が、住み慣れた地域で安心して居住できる環境の提供により努められたい。
- 自立支援の学習塾への補助については、必要とする世帯が多いことが予想されるため、対象者への周知の方法や利用のしやすさに課題がないか、不用額となった原因を研究したうえで利用の促進に努められたい。
- 生活援護費の就労準備支援事業については、拠点の拡大とともに若者支援が必要と考える。庁内連携はもとより、より多くの人に情報が届くよう周知の仕方について検討されたい。
- 子宮頸がん検診の20代の受診率が低い。若い世代への周知活動として、和光大学での取組を市内の他大学にも広げるよう検討されたい。
- 外国人妊婦へ母子手帳を渡す際には、出産、育児に関する支援制度や日本の教育制度等の情報提供（英語だけでなく）の充実に努められたい。
- 国保税滞納者に対しては丁寧な分納相談、他部署と連携して生活再建の支援につなげるよう努められたい。
- 認知症サポーターで地域活動の情報提供を希望し、登録している人が地域活動につながっていく取組を推進されたい。

【認定第３号】

- 内視鏡手術支援ロボット（ダヴィンチ）の導入等により、高度な医療サービスを提供することは、患者の治療・回復、満足度などに効果が現れている。さらに、副次的効果として、医師、看護師の確保、収益改善など病院経営改善にも貢献している。今後も積極的に生かされたい。
- 保育室においては、入院患者の子どもや兄弟姉妹が利用できるなど、柔軟な対応に努められたい。

など計54件の意見を附帯決議として付しました。

総　務

9月9日・10日・17日に議案4件、認定1件の審査を行いました。

堺市民センター改修工事請負契約

委員　全施設が工事期間全体で、駐車場を含めて使えないということか。

営繕課長　施設は利用していただきながら、1階、2階とかスペースを変えながら工事手順を考えていまして、施設を休館して進めるということではありません。

委員　奥のほうの駐車場があるので、そのあたりがどうなっているのか。

堺市民センター長　駐車場については、工事車両とかクレーン車だとかが入りますので、一応利用はできないということになっています。

委員　実際は堺地区の方の場合は、交通手段上は車で来ないと難しい人たちが多いのではないか。どこか別の場所を確保するということか。

堺市民センター長　現段階としては、駐車場は別途用意することは考えていません。思いやり駐車場と障がい者用の駐車場が2台確保されていますので、それは使えるようになります。ほかに体が不自由な方がいますので、そういった方用に何台かは用意したいとは思っています。ただ、基本的に一般の利用は、目の前にバス停もありますので、公共交通機関等で来ていただくように考えています。

委員　履行期限は25年11月7日までとあるが、この期限に終わらないような場合、周知はどういうふうにやるのか。

堺市民センター長　工期が延びた場合、登録してある団体等には通知等を行い、ホームページとかを使いながら周知していきたいと思います。

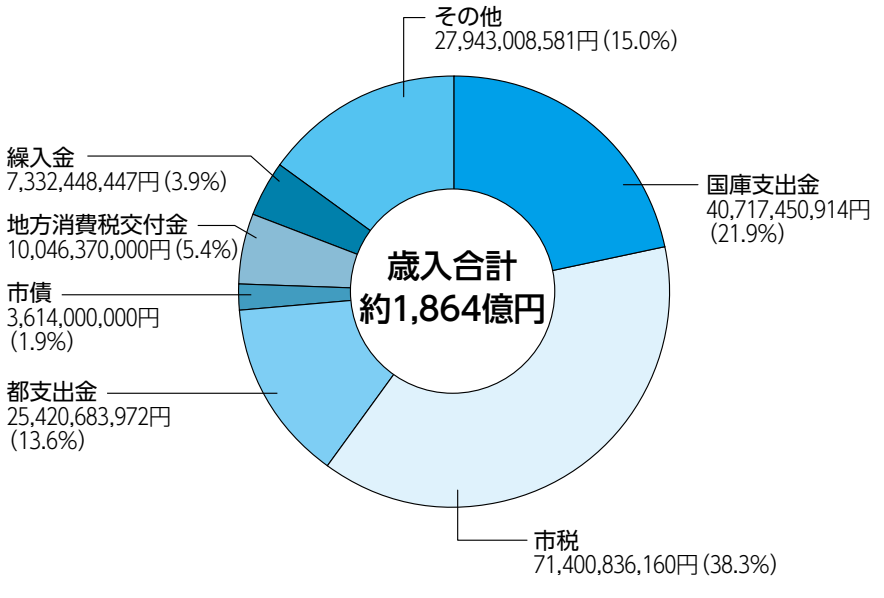
決算審査（総務）認定すべきものと決定

- 市長への手紙については、他自治体の状況を参考にして、内容の公開を今以上に進めるとともに、傾向分析についてはジェネレーティブＡＩを活用し偏りなく効率的に行い政策立案の参考にされたい。
- 会計課の資金の運用に関して、金利の動向を注視しながら、より安定した収益が見込める債券の保持を図られたい。
- 行政財産に設置されている売店と自販機について、社会福祉法・母子父子寡婦福祉法の趣旨に則り、特に指定管理者には法の趣旨を理解していただき推進されたい。
- 次世代自動車導入が年間ゼロとならぬようリースのみでなく様々な方法を検討し推進されたい。
- いじめ問題調査委員会の答申で指摘のあった内容については、市長部局に関わる部分だけでなく学校教育部に関わる部分についても、政策経営部においてその指摘の内容の改善状況を確認し、庁内一体となって連携の上、課題解決に努められたい。
- 障がいのある方や高齢者の投票における配慮への理解を進めるため、市の取組について広く周知啓発に努められたい。
- 公開したオープンデータファイルの件数を増やすとともに、市民のオープンデータの利活用への理解が進むよう具体的な事例についても積極的な情報発信に努められたい。
- 町田市勤労者福祉サービスセンターについては加入事業所数の増加に努め、商工会議所をはじめとした他団体との連携など外部との積極的な情報交換を行い、ニーズの掘り起こしも行うよう検討されたい。
- 市街化調整区域内の遊休農地に関して、農業の発展拡大に寄与する観点から必要な整備が拡充するように図られたい。
- 物価高騰の影響を受けた事業者への負担軽減支援について、中長期的な取組も検討されたい。
- 中心市街地歩行者通行量の目標設定に関しては、一律に長期目標を毎年固定して設定しているが、現実に即して中期的な目標数値を具体化して設定し、現状の政策課題に反映されるように改善を図られたい。
- 消防団の魅力向上の手段として、活動に役立つ資格取得の補助の充実を検討されたい。
- 消防団については、実際に支援が必要な際に対応ができるかという視点を大切にして、団員の確保に努められたい。
- 消防少年団との協働に努められたい。

など計54件の意見を附帯決議として付しました。

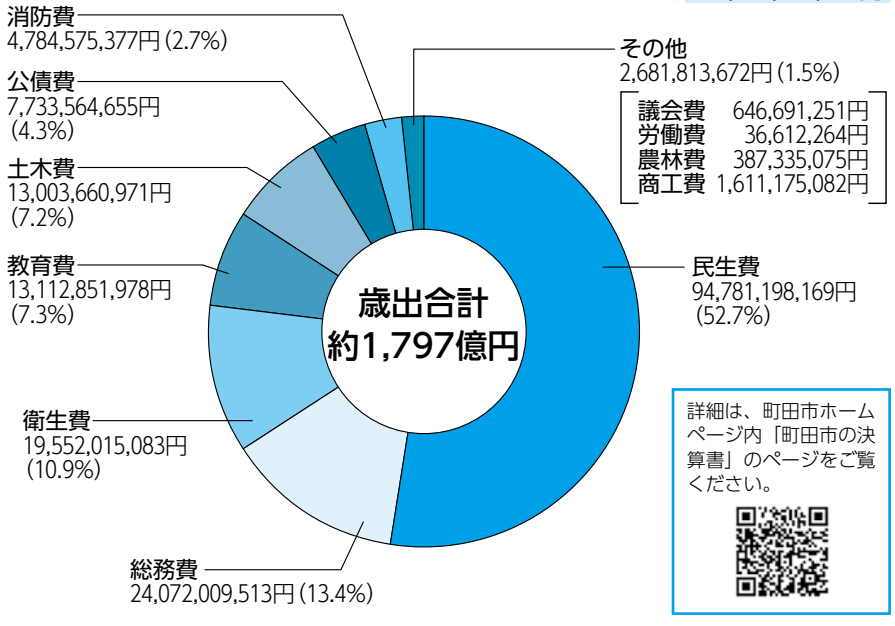
令和５年度　歳入決算額の内訳（一般会計）

歳入合計額 186,474,798,074円



令和５年度　歳出決算額の内訳（一般会計）

歳出合計額 179,721,689,418円



詳細は、町田市ホームページ内「町田市の決算書」のページをご覧ください。

付託された議案等を審査　委員会の

町田市議会には、４つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願、所管事務調査による行政報告等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各常任委員会の主な審査状況をお知らせします。

建設

９月11日・12日・19日に議案７件、認定２件の審査を行いました。

令和６年度（２０２４年度）町田市一般会計補正予算（第３号）
～成瀬駅南口エレベーター更新事業～

委員　成瀬駅南口エレベーターの更新事業は翌年度にずれ込むという話があったが経緯、背景を教えてもらいたい。

道路維持課長　これまでも世界情勢等によって半導体とか材料の逼迫が言われてきていますが、エレベーターも同じように材料の納品の滞り等があり、納期が１年近くかかるということで、単年度で予定していた工事を24年度、25年度の２か年債務にするという変更を行ったものです。

町田市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例

委員　今は横浜線以南のみで容器包装プラスチック専用の回収をやっているが、26年４月から全市的にやるから、このタイミングで条例を出したのか。

環境政策課長　そのとおりです。

委員　一刻も早く小袋が欲しいという要望はそんなにはないか。

環境政策課長　要望は、16年の南地区でやった当初からもいただいていたが、このタイミングで大きく変えるというところがあったので、ここで採用するということです。

委員　小さな袋の利用者をどのぐらい見込んでいるか。

環境政策課長　割合として想定はできていなくて、他市の状況から大体27％ぐらいが小袋を使うんじゃないかというデータの下に考えています。

文教社会

８月27日、９月11日・12日・19日・30日に議案16件、認定１件、請願２件の審査を行いました。

令和６年度（２０２４年度）町田市一般会計補正予算（第３号）
～すくわくプログラム推進事業～

委員　対象施設等は幾つかあるが、市においては、何か所が対象施設になるのか。

保育・幼稚園課長　すくわくプログラム推進事業に関して、市が対象としている施設の数については43施設です。市では、補助対象となる施設を社会福祉法人以外が運営する認可保育所、これは公立保育園も含みます。それと小規模保育所、幼保連携型認定こども園、認証保育所としています。また、社会福祉法人が運営する認可保育所と幼稚園、幼稚園型認定こども園については、東京都からの直接補助となります。

町田市立図書館条例の一部を改正する条例
～鶴川図書館における図書コミュニティ施設に向けた取組状況についてを一括で～

委員　図書コミュニティ施設という位置づけになることで、図書館を残してほしいといった思いは、どのように反映されているか。

図書館担当課長　今後の人口減少とか財政状況を考えますと、将来にわたってサービスを継続していくために、再編が必要という認識で取り組んできたところです。地域の意見を、22年度から２年間かけて意見交換を進め、図書の提供機能、コミュニティーの機能を併せ持つ図書コミュニティ施設に転換していくというところを決めたところです。

決算審査（建設）
認定すべきものと決定

- 大型生ごみ処理機については維持できるよう対策を講じられたい。
- 指定喫煙所に寄せられている市民からの苦情に応えるため、新たな受動喫煙対策を速やかに実現されたい。
- 資源とごみの収集量は漸減傾向にあるが、なお一層ごみの収集量を減少させるべく努められたい。
- ふれあい収集についてはケアマネだけでなく、対象者の家族も含めた幅広い市民に対する周知に努められたい。
- バイオエネルギーセンターでのリチウムイオン電池による火災対策のため、除去の機械化のほか、脱着型電池パックの啓発活動強化や集積所回収なども検討されたい。
- みちづくり・まちづくりパートナー事業（小野路）の早期整備に努められたい。
- 道路通報システムが活用され、道路通報件数が増加する中で、市民への対応をより効率的に行えるよう検討されたい。
- 放置自転車の減少による放置自転車等対策業務委託の費用対効果の状況を鑑み、今後のあり方を検討されたい。
- 街路樹や草刈りの包括的民間委託にあたっては、市職員のスキルが失われないよう民間委託の範囲について十分に配慮されたい。
- 「町田市街路樹更新計画」の内容について、広報まちだ等での市民への周知を行うこと。また、対象路線の関係市民に対する丁寧な説明や意見交換をされたい。
- 相原駅東口まちづくりについては、民間資本の導入等を含め様々な手法を検討し、民間の土地と駅前交通広場等の公共施設の土地利用が一体的に図れるよう、連携して進められたい。
- 「町田駅周辺開発推進計画」Ｄ地区については、森野住宅住民への説明会をＪＫＫ東京と連携し、適時行われたい。
- 野津田公園スケートパーク「基本設計」の内容について、近隣住民や関係市民への説明会を適時行い、理解と合意が得られるよう努力されたい。
- 近年の異常気象を考慮した調整池及び水路の管理計画の検討を図られたい。
- 下水道の点検調査の計画を明確にして推進されたい。

【認定第２号】
- 市民に負担を強いることなく、経費回収率を100％以上に高めるなど健全な財政運営に努められたい。

など計36件の意見を附帯決議として付しました。

決算審査（文教社会）
認定すべきものと決定

- 国際版画美術館費の収入目標を達成するよう努力されたい。
- 市民センター、コミュニティセンターの会議室が空いている場合は、クーリングシェルターの拡充などで一般開放を日中も行うなど、施設を有効に活用されたい。
- 一時保育の実施園としつつも、実際の実施回数が０回等、極端に少ない園には事情を確認し、受け入れが実際には困難なのであれば実施園として公開しないよう、利用者目線での情報公開を進められたい。
- 病児・病後児保育は、要望者の利便性向上のため引き続き事業の周知を図り、進める上で医師会とも連携を強化されたい。
- 地域子育て相談センターにおけるマイ保育園事業は、事業の意義を保護者に周知し、保護者同士の子育てに関する情報共有・意見交換の場としての利用拡大に努められたい。
- 学校再編に伴う、学童保育クラブの対応について、関係者との意見交換・情報共有を積極的に行い進められたい。また、学校再編等により大規模化する学童保育クラブに対し、施設改修や分散化等も含め対応をされたい。
- 消費生活相談事業においては、高齢者支援センター並びに関連施設との連携をさらに進めるとともに、警察などとの連携も検討されたい。
- 新たな学校づくりの今後の学校統合等に向けて、通学路の安全対策及び通学区域の最適化については、地域の実情に合わせての強化や、早期的な取組に努められたい。
- hyper-ＱＵについて、幅広い学年での活用と、児童生徒の声が届きやすい仕組みを検討し、いじめや不登校への対策ツールを導入する等、わかりやすく活用されたい。
- 中学校教育支援センター事業においては、くすのき教室の在籍生徒の需要拡大の現状においても、子どもの学びの機会の確保のため、最新の児童生徒の状況を踏まえ、適切な教室配置に取り組まれたい。
- 外国人児童数・生徒数が急激に増えている。児童・生徒の不安等を取り除く体制を築かれたい。
- 新たな学校づくり推進計画について、今後も児童生徒・保護者・地域へのご意見を伺う機会や意見表明機会を設けられたい。
- 「ことばらんどショートショートコンクール」の出張授業を増やし、26市唯一の文学館をアピールされたい。
- 「室内プール・温浴施設」、「バイオエネルギーセンター」、「忠生スポーツ公園」については、引き続き、地域住民・団体・組織の声を聞いて柔軟に連携されたい。

など計98件の意見を附帯決議として付しました。

可決した主な議案の内容

第74号議案　町田市個人番号及び特定個人情報の利用等に関する条例の一部を改正する条例

生活保護法及び児童手当法の改正に伴い、関係する規定を整理するため、所要の改正をするものです。

第75号議案　町田市高校生等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

安心して子育てができる環境を提供することを目的として、高校生等の医療費の助成における所得制限を撤廃するため、所要の改正をするものです。

第76号議案　町田市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例

容器包装プラスチックの廃棄物の排出に使用する指定収集袋の種類を追加するため、所要の改正をするものです。

第78号議案　町田市中学校給食センター条例

町田市内３か所に中学校給食センターを設置することを目的として、制定するものです。

第81号議案　消防ポンプ自動車購入

消防ポンプ自動車の更新計画に基づき、使用期限が経過した消防ポンプ自動車を買い替えるため、物品供給契約を締結するものです。

～常任委員会の活動状況～

町田市議会では、常任委員会の活動として、市内の各種団体の皆さんと懇談会を開催し、市民と議会の意見を交換する場としています。懇談会で出された意見については、議会活動に反映させていただきます。10月までに開催した懇談会は次のとおりです。

日付	団体名	内容	対応した常任委員会
9月26日	町田市障がい者福祉懇談会	投票支援カードや災害時の個別避難計画について　等	総務

第17期町田市議会改革調査特別委員会を開催

８月20日、９月26日に開催され、以下の付議事件について審査が行われました。

付議事件
①議員の調査活動等に関する事項
②議会の権能・機能強化に関する事項
③議会の情報提供に関する事項

の調査・検討

本会議の質疑から

条例・その他

第75号議案　町田市高校生等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

議員　目的は。対象となる人数は。

子ども生活部長　23年４月から開始しました町田市高校生等の医療費助成制度は、高校１年生から高校３年生相当の年齢に当たる子どもにかかる医療費の一部を養育している者に対し助成するものです。条例改正について、高校生相当年齢までの全ての子どもが医療費助成を受けられるようになることで、子育て世帯への経済的支援をさらに推進し、安心して子育てができる環境を提供することを目的としています。対象人数は、今回の所得制限撤廃により、全体の割合として約32％、約３７００人が新たに対象となると見込んでいます。現在、約８０００人の高校生等に医療証を交付していますので、25年４月からは、合計約１万１７００人が対象となる見込みです。

第76号議案　町田市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例

議員　容器包装プラの分別の広報の状況とこれからの予定は。現行、南地区が容器包装プラの分別を行っているが、10Ｌ袋の先行使用はあるか。

環境資源部長　容器包装プラの分別の広報の状況とこれからの予定ですが、環境資源部内に検討組織を立ち上げ、効果的な周知方法について検討している状況です。全市域に先行して、容器包装プラスチックの分別収集にご協力をいただいているＪＲ横浜線以南地域の皆様に向けても、これまで以上に分別に協力いただけるよう、様々な周知啓発方法を検討していきます。10Ｌ袋の先行使用ですが、26年度から市全域での容器包装プラスチックの分別収集、資源化開始に合わせて市全域に専用袋が行き渡るよう、事前に調達する必要があり、その契約に向けて、あらかじめ条例を改正するものです。ＪＲ横浜線以南地域を含め、各販売店へ行き届くよう準備を行い、市民の方が事前に購入できるようにしたいと考えています。

請願の処理経過及び結果報告

令和６年（２０２４年）第２回町田市議会定例会において採択された、請願について、次のとおり報告がありました。

避難所と通学路の安全が明確になるまで南成瀬小と南第二小の統廃合計画の延期を求める請願

経過及び結果

教育委員会では、通学路の安全性について、「新たな学校づくり基本計画検討会」や、「成瀬小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会」の中で、実際の通学経路を想定しながら議論し、合同安全点検やシミュレーションを行いながら、具体的な検討を行ったうえで通学路案を決定し、必要な対策を講じており、安全性は確保できていると考えております。

一方、避難施設については、都立成瀬高校を代替避難施設として利用することとし、安全性が確保できているものと考えていたものの、皆様にご理解いただくための周知が十分ではなかったものと認識しております。

そのため、南成瀬小学校と南第二小学校の統合に向けて、より一層学校と連携し、「新たな学校づくり通信」や学校だよりなどの広報紙や、説明会などを通じて、これまで以上に皆様にご理解していただけるよう、さらなる周知に努めてまいります。

令和５年度政務活動費の収支報告について

条例に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派に対し政務活動費が交付されています。毎年度、その収支について、領収書等の必要書類を添えて議長に提出することが義務付けられています。令和５年度の会派別収支は次の表のとおりです。

会派ごとの収支報告書及び領収書等については、市庁舎３階の議会図書室で閲覧することができ、市議会ホームページでもご覧いただけます。

令和５年度政務活動費会派別収支報告一覧表

（単位：円）

会派名		まちだ市民クラブ	公明党	自由民主党	選ばれる町田をつくる会	日本共産党	無所属	諸派（おぎさ重太郎・矢口まゆ）	諸派（熊沢あやり）	諸派（中川幸太郎）	諸派（秋田しづか）
所属議員数（令和6年3月31日時点）		8人	6人	5人	5人	4人	3人	2人	1人	1人	1人
交付月数		12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分
収入額（交付額）※		5,760,000	4,320,000	3,600,000	3,600,000	2,880,000	2,160,000	1,440,000	720,000	720,000	720,000
実支出額	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	調査活動費	1,131,849	1,720,746	541,028	449,432	0	317,303	71,761	0	0	73,148
	研修・研究・会議費	193,056	46,200	8,000	19,000	0	31,220	0	0	0	396,000
	資料作成費	0	0	0	140	0	1,760	0	0	0	0
	資料購入費	387,177	501,107	758,004	224,075	127,344	208,171	0	0	0	4,180
	広報費	2,777,044	369,832	2,463,529	1,936,439	2,091,782	1,053,191	653,762	0	680,680	74,125
	通信運搬費	518,802	385,078	75,677	462,161	0	287,147	0	0	0	0
	事務費	531,559	660,989	166,082	203,208	442,108	327,143	0	0	0	31,360
	合計	5,539,487	3,683,952	4,012,320	3,294,455	2,661,234	2,225,935	725,523	0	680,680	578,813
残余金（返還額）		220,513	636,048	0	305,545	218,766	0	714,477	720,000	39,320	141,187

※収入額（交付額）は、各月1日（基準日）における会派の所属議員数に、月額6万円を乗じて得た金額の月数分です。

議員提出議案　意見書（要旨）

本定例会では意見書３件を可決し、議長名で関係行政庁へ提出しました。要旨は次のとおりです。

在日米軍人・軍属による性的暴行事件の再発防止、及び関係自治体への迅速な情報の周知徹底を求める意見書

23年12月米軍嘉手納基地所属の空軍兵による16歳未満の少女への性的暴行事件が発生、外務省及び在日米軍は防衛省及び関係自治体に通報せず24年６月末に報道により発覚。本件以外にも関係自治体に通報されていなかった在日米軍構成員等による性犯罪が複数判明。被害者のプライバシーに配慮した犯罪予防・再発防止に努め、被害者救済・補償、住民の安全、被害者の尊厳を守るためにも、97年の日米合意に則り遅滞なく通報手続が行われるよう日米合同委員会で協議することを求める。

内閣総理大臣ほか5件宛て

「校内別室指導支援員配置事業」の補助金の継続・拡充を求める意見書

全国で不登校の児童生徒が、増え続けているが、町田市も例外ではなく、23年度は、約26％も増えている。都教委が、別室であれば登校できる生徒の居場所に対して、支援員を配置する補助制度を23年度から２年間の事業として行った。当市はこの補助金を活用して「校内教育支援センター」を立ち上げ、中学校４校に対して指導員、スクールソーシャルワーカーを配置した。子どもや保護者、学校現場から継続を望む声が寄せられている。

よって、町田市議会は都に対して、「校内別室指導支援員配置事業」の補助金の継続と拡充を求めるものである。

内閣総理大臣ほか1件宛て

自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書

高齢化社会の中で、高齢者の運転による交通事故が社会問題であり、運転免許の自主返納の取組が進められている。公共交通の空白地域など免許返納後の移動の足の確保が、大きな課題でもあるため、以下の取組を政府に強く求める。

①過疎地域を包含する地方公共団体に寄り添う形で、国の相談窓口の開設や、専門家の派遣等の伴走型の支援体制の整備。②自動運転システムが主体となって車の操縦・制御等を行うレベル４以上の車両の開発促進とともに、遠隔操作システムの導入を含めた行政における利活用の仕組みの検討・環境整備の加速化。

内閣総理大臣ほか5件宛て

第７回　高校生と町田市議会議員の意見交換会の開催について

今年で７回目となる高校生と町田市議会議員の意見交換会を次のとおり開催します。

■日時　11月３日（日）
13時30分～16時

■内容　以下のテーマに沿って意見交換をします。

テーマ①「魅力的な町田住みたい町田にするには」

テーマ②「政治を身近に感じてもらうために、若者に届くＰＲ方法とは」

※詳細は町田市議会ホームページをご覧ください。

≪意見交換会のページをご覧ください≫

市議会ホームページに、意見交換会の開催案内及び実施報告書等を掲載しています。

また、過去に開催した際のダイジェスト動画や写真等も公開しています。高校生と市議会議員の活気ある意見交換の雰囲気をご覧ください。

≪意見交換会のページ≫

◎９月定例会の日程

月	日	内容	傍聴者数：253名
8	27（火）	本会議 議会運営委員会 常任委員会（文教社会）	17
	28（水）	議案説明会	1
	30（金）	本会議 議会運営委員会	4
9	2（月） 3（火） 4（水） 5（木）	本会議	27 9 14 16
	6（金）	本会議 議会運営委員会	3
	9（月）	常任委員会（総務・健康福祉）	30
	10（火）	常任委員会（総務・健康福祉）	11
	11（水）	常任委員会（文教社会・建設）	31
	12（木）	常任委員会	1
	17（火）	常任委員会（総務・健康福祉）	
	19（木）	常任委員会（文教社会・建設）	
	26（木）	第17期町田市議会改革調査特別委員会	3
	30（月）	本会議 議会運営委員会 常任委員会（文教社会）	86

～電子書籍版もご覧ください～

「町田市議会だより」は、市議会ホームページ上で、ＰＤＦ形式もご覧いただけます。

また、「カタログポケット」、「マチイロ」、「TAMA ebooks」での電子書籍版を掲載しています。右の市議会ホームページ内のリンクよりご覧ください。

≪市議会だよりのページ≫

リサイクル適性Ⓐ　この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この広報紙は 75,700 部作成し、１部当たりの単価は 21 円です。（職員人件費を含みます。）

UD FONT